

Q24 自立活動の評価は、どのようにすればよいのでしょうか。



特別支援学級担任

自立活動の授業の様子で  
評価をしています……。



通級指導教室担当

日常生活の中で、なかなか  
できるようにならず、  
授業場面の評価はできま  
すが、その評価でよいので  
しょうか……。



特別支援学級担任

設定した目標に対して、  
結果がなかなか見えにく  
く、どのように評価したら  
よいか分かりません。

A 時間における指導の場面だけでなく、生活場面の中でも評価し、具体的な児童生徒の姿で記述します。

自立活動の実態把握は、児童生徒の生活全般の中で行われ、目標、内容が設定され、学習上及び生活上の困難の改善が意図されて指導が行われるため、生活場面でも評価を行い、学習上及び生活上の困難が改善されているかの検証をする必要があります。

評価は、次の目標につなげるために、①どんな場面(状況)で、②教師の支援はどの程度で、③どのような補(自)助具等を使い、④児童生徒は何ができているのか、具体的な児童生徒の姿で評価します。

目標に対して結果がなかなか見えにくい、目標が達成されず評価しにくい場合は、目標設定に問題があります。目標を細分化し、より段階化した指導が行われる必要があります。

評価は、保護者や医療や福祉等の関係機関とも連携を図り、評価を一緒に行ったり、評価結果を共有したりして、家庭生活等の場面へ成果を波及させることも大切です。

さらには、実態に応じて児童生徒自身が、自立活動の評価を行う取組も考えられます。自己評価の取組を通して、自分の障がいについての理解を深めることができます。また、成長した自分を認識することで、困難を改善しようとする意欲をもったり、自己肯定感を高めたり、自分の障がいとのよりよい付き合い方を身につけたりすることが期待できます。

特別支援学校教育要領・学習指導要領解説  
自立活動編のP.118~119にも、評価について、詳しく解説されています。

文部科学省  
「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編」

